



大垣市政・経済記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年10月7日（水） 岐阜県発表資料			
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画課企画連携係	成瀬	直通 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420

「関ヶ原研究会寄稿集2026」を発行します

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」という。）では、関ヶ原研究の深化・発展に向け、第一線で活躍する歴史研究者や学芸員を会員とする関ヶ原研究会を令和5年度に設立し、講演会等を通じた最新研究状況の発信、若手研究者の支援などに取り組んでいます。

このたび、その取組の一環として、近年、関ヶ原の地において講演された10名の会員の皆様に、最新の研究内容や研究状況を執筆いただき「関ヶ原研究会寄稿集2026」を作成しました。本寄稿集は10月17日（土）から、記念館入館者のうち希望される方に無料配布しますのでお知らせします。

記

1 執筆者及び題名（掲載順）

執筆者	題名
おわだ てつお 小和田 哲男 (岐阜関ヶ原古戦場記念館館長)	新出の福島正則書状から浮かび上がる正則の人物像
うえの てつや 植野 哲也 (一般社団法人林原美術館主任学芸員)	伝池田輝政所用の甲冑について
きりの さくじん 桐野 作人 (歴史作家、武蔵野大学政治経済研究所客員研究員)	島津義弘はなぜ西軍に加担したか
こいけ えちか 小池 絵千花 (早稲田大学文学研究科博士後期課程)	「定説」はいかに作られたか — 関ヶ原本陣の布陣地の変遷を追う —
こくはた まさき 石畑 匡基 (大手前大学国際日本学部講師)	新収蔵品「大谷吉継黒印状」から読み取る吉継の人となり
さがわ しんいち 狭川 真一 (大阪大谷大学文学部特任教授)	大谷吉継墓五輪塔の評価
とのおか しんいちろう 外岡 慎一郎 (元奈良大学教授)	関ヶ原参戦武将の誤算と幸運 ～ 大谷吉継の場合（関ヶ原研究大会二〇二五から） ～
ひらの じんや 平野 仁也 (東海学園大学准教授)	家康の戦略と美濃の状況
みうら まさゆき 三浦 正幸 (広島大学名誉教授)	開戦前から決していた関ヶ原の勝敗 ～ 美濃・尾張12城の調略と落城 ～
みずの ともき 水野 伍貴 (歴史研究者)	細川ガラシャ自害の背景

- 3 配布方法 10月17日（土）から、記念館に入館された方のうち希望者に記念館1階広域観光情報コーナーにて配布（入館券の提示が必要）

【関ヶ原研究会の概要】

- 目 的 関ヶ原に関連する研究状況の発信、若手研究者の支援等を通じて関ヶ原研究を促進し、調査研究フィールドや観光地としての関ヶ原古戦場の魅力や関心を高める
- 設立日 令和5年10月14日
- 会 長 小和田哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館館長
- 会 員 関ヶ原に関連する研究実績のある者（大学教授、歴史研究家、博物館学芸員等）
- 内 容 関ヶ原研究の活性化に向けた各種取り組みを実施
 - ①関ヶ原関連研究に関する情報発信
関ヶ原関連の最新研究状況・成果等を広く発信する講演会、討論会の実施
 - ②若手研究者の育成支援
関ヶ原研究若手研究者支援事業や若手研究者への研究発表機会の提供等の実施
 - ③学芸員ネットワークの形成
関ヶ原の戦いに関連する博物館等の学芸員における研究状況や展示、収蔵品等に関する情報交換の実施
 - ④関ヶ原研究への興味・関心の向上に向けた活動